

様式第 1 号

談合情報報告書

年 月 日

情報を受けた日時・場所	年 月 日 () 時 分
対象案件名	
開札 (予定) 日	年 月 日 () 時 分
通報者 提供者	氏名 連絡先
受信者	所属・氏名
情報手段	電話 書面 面接 報道
情報内容	
応答の概要	
問い合わせ先	TEL .

談合疑義事実報告書

年 月 日

事実を得た日時	年 月 日 () 時 分
対象案件名	
開札 (予定) 日	年 月 日 () 時 分
発注機関名	
談合の疑義の内容	
問い合わせ先	TEL .

談合疑義のきっかけとなった資料等を添付すること。

様式第2号

第 年 月 日 号

三重県公正入札調査委員会委員長 様
各部局等の公正入札調査委員会委員長 様

発注機関の長

談合情報の取扱いについて（通知）

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る談合情報については、三重県建設工事等談合対応マニュアル第3の2（1）により【 C 】として取り扱うこととしますので報告します。

A = 発注機関名

B = 対象案件名

C = 以下より選択すること。

1 調査に値する談合情報

2 調査に値しない談合情報

を記載すること。

様式第3号

第 年 月 日 号

発注機関の長 様

三重県公正入札調査委員会委員長
各部局等の公正入札調査委員会委員長

談合疑義事実に係る取扱いについて（通知）

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る談合疑義事実については、【 C 】ため、
【 D 】。

A = 発注機関名

B = 対象案件名

C = 理由を記載すること。

記載例

- ・入札談合があると疑うに足りる事実である
- ・入札談合があると疑うに足りる事実ではない

など

D = 1 三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査の実施をお願いします

2 談合疑義事実として扱わないこととします

を選択すること。

を記載すること。

様式第4号

第 年 月 日 号

三重県公正入札調査委員会委員長 様
各部局等の公正入札調査委員会委員長 様

発注機関の長

調査に値する談合情報の取扱いについて（通知）

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る談合情報については、三重県建設工事等談合対応マニュアル【 C 】により【 D 】ので報告します。

A = 発注機関名

B = 対象案件名

C = 以下より選択すること。

1 （通報が開札前にあった場合）

・ 第3の3（1）

2 （通報が開札後にあった場合）

・ 第3の2（1）により調査に値する談合情報として取り扱うこととし、第3の3（2）

D = 以下より選択すること。

1 調査を実施します

2 調査は不要とします

を記載すること。

三重県公正入札調査委員会委員長 様
各部局等の公正入札調査委員会委員長 様

発注機関の長

入札談合に係る調査の実施について（通知）

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る【 C 】については、三重県建設工事等談合対応マニュアル第3の5(1)により【 D 】について審査したところ、【 D 】の内容に入札談合の疑い【 E 】、同(2)により事情聴取を実施することとしますので報告します。

A = 発注機関名

B = 対象案件名

C = 以下より選択すること

- 1 談合情報
- 2 談合疑義事実

D = 以下より選択すること。

- 1 工事費内訳書
- 2 技術提案に係る書類
- 3 工事費内訳書及び技術提案に係る書類

E = 以下より選択すること。

- 1 が認められたため
- 2 が認められ、かつ、【 a 】
- 3 は認められませんでした、【 a 】

a = 以下より選択すること。

- 1 客観的な物的証拠があるため
- 2 談合情報に、【 (a) 】が含まれるため

(a) = 以下より選択すること。

- 1 談合に参加した当事者以外に知り得ない情報
- 2 公表していない事項

を記載すること。

様式第 6 号

事情聴取書

案件名

業者名

事情聴取を受けた者

事情聴取者

日時・場所

質問	聴取内容

事情聴取一覧表

案件名：

業者名	A社	B社
事情聴取を受けた者		
事情聴取者		
事情聴取時間		
質問	聴取内容	聴取内容

対象者数に応じ、列数は適宜増減すること。

三重県公正入札調査委員会委員長
各部局等の公正入札調査委員会委員長 様

発注機関の長

入札談合に係る調査結果について（通知）

【 A 】発注の【 B 】の入札に関する【 C 】について、三重県建設工事等談合対応マニュアル第3の5により調査しましたので、その結果について下記のとおり報告します。

記

- 1 談合情報の概要
- 2 調査結果
 - (1) 三重県建設工事等談合対応マニュアル第3の5(1)による審査結果
 - (2) 三重県建設工事等談合対応マニュアル第3の5(2)による事情聴取結果
- 3 調査結果まとめ
- 4 資料

A = 発注機関名

B = 対象案件名

C = 以下より選択すること。

1 談合情報

2 談合疑義事実

を記載すること。

発注機関の長 様

三重県公正入札調査委員会委員長
各部局等の公正入札調査委員会委員長

平成 年度第 回【 A 】の審議結果について（通知）

【 B 】発注の案件について、 年 月 日に【 A 】を開催し、下記のとおり審議しましたので通知します。

記

1 対象案件名

2 審議結果

記載例

- ・「入札談合の事実があったと認められる」との結論になりました。
- ・「入札談合の事実は確認できない」との結論になりました。
- ・「入札談合の事実は確認できないが、【 C 】ため、入札談合の疑いが払拭できない」との結論になりました。

など適宜記載すること。

A = 三重県公正入札調査委員会又は各部局等の公正入札調査委員会

B = 発注機関名

C = 理由を記載すること

記載例

- ・入札参加者の工事費内訳書の内容に不審な点がある

など

を記載すること。

公正取引委員会事務総局中部事務所長 様
三重県警察本部刑事部長 様

建設工事等を所掌する部局等の長

談合情報等に関連する資料について（送付）

【 A 】発注の【 B 】の入札に係る談合情報等に関連する資料を、別添のとおり送付いたします。

1 添付資料

- (1) 談合情報報告書（又は談合疑義事実報告書）
- (2) 事情聴取書
- (3) 入札結果調書
- (4) 誓約書（写）
- (5) その他関連資料

通報の時点で添付可能な資料を添付すること。

2 対応状況

通報の時点での対応状況を記載すること。

記載例

- ・ 月 日、談合情報が入りました。月 日に開札を行ったうえで調査の実施について判断します。
- ・ 開札結果が談合情報と一致したため、落札者決定を保留し、三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査を実施します。
- ・ 開札の結果、談合情報と一致しなかったため、三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査は実施せず、入札・契約手続きを続行することとしました。
- ・ 三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査を実施したところ、談合の事実は確認できませんでしたので、入札・契約手続きを続行することとしました。
- ・ 月 日、談合情報が入りましたが、調査に値しない情報であると判断し、三重県建設工事等談合対応マニュアルに基づく調査は実施しないこととしました。

なお、開札結果は、別添のとおりです。

など

A = 発注機関名

B = 対象案件名

を記載すること。